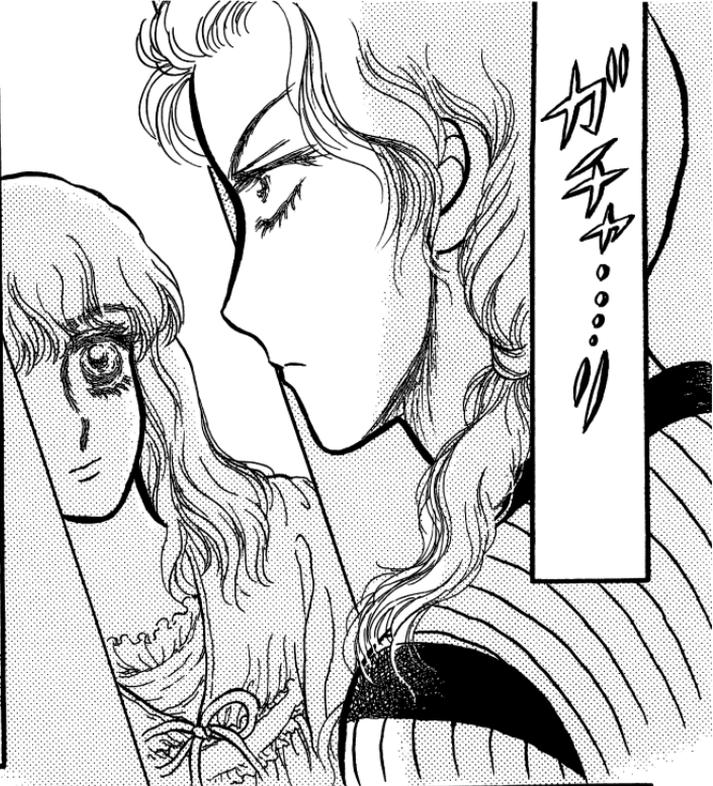


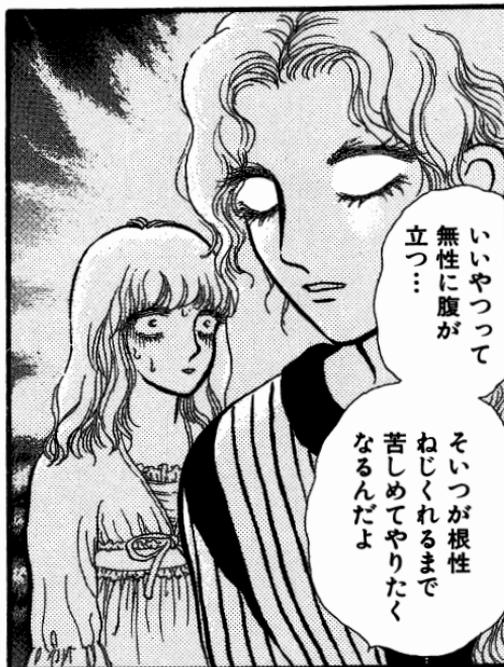
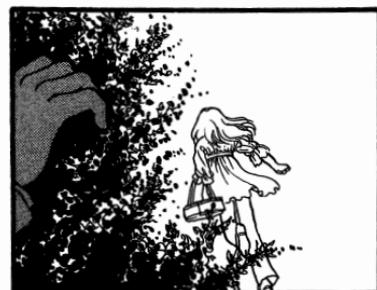
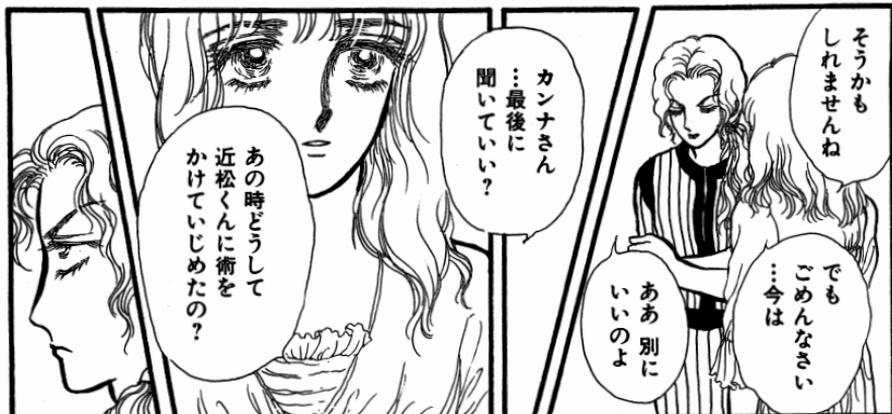
銀の鬼
〈第九卷〉

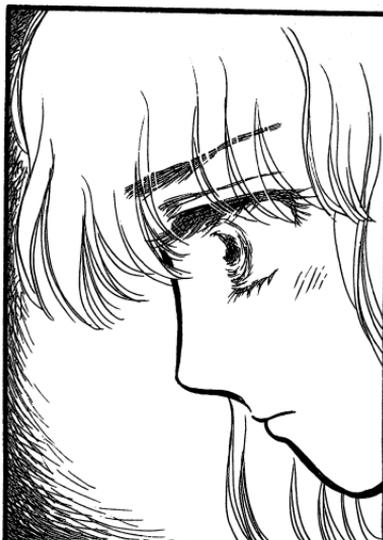
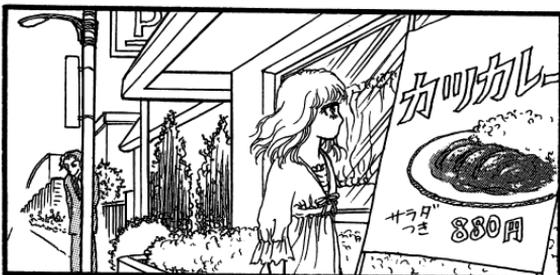
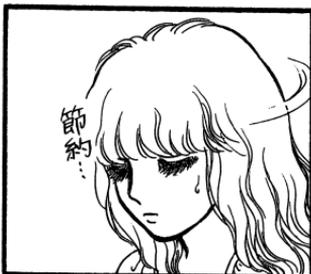
茶木ひろみ



かき☆☆…



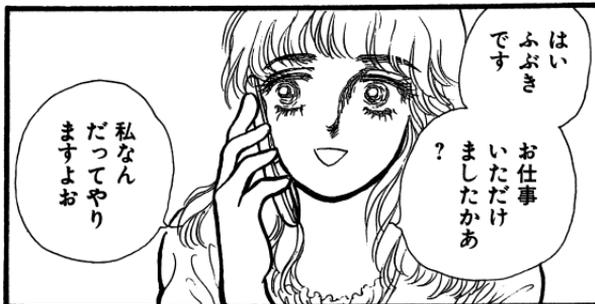






来た！

…あ
おおっ



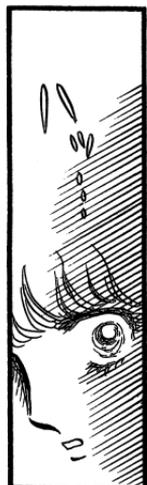
はい
ふぶき
です
お仕事
いただけ
ましたかあ
？

私なん
だってやり
ますよお



カナナさん
聞こえて
ますか？

…もしもし？



聞こえ
てる

ああ
よかつ…



聞こえま
せんかあ？



コン
コン

…
このケータイ
不良品かな



ものすじく
はつきりとな

これか？
カナナから
借りたんだよ

おかげで今度
「鉄鎖」をかける
約束をさせられた

ずっとつけられてた
のも知らないで
バカが

そんな…
卑怯^{ひきょう}だわ

おれより卑怯な
やつにもだボケ

おいそこのグレイの
幻男^{まぼろしおとこ}うせろ！



なにが

あいつと
別れたの？

そうです
……だ！





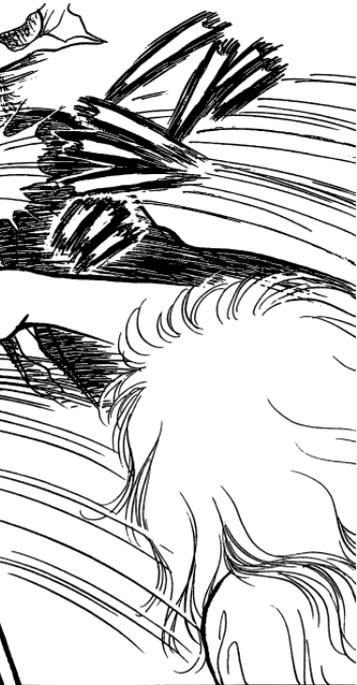
ふぶき！
おまえ
何考え…



ふぶき
止まれ

止まらないと

こいつを
殺すぞ！



て…る

…!?

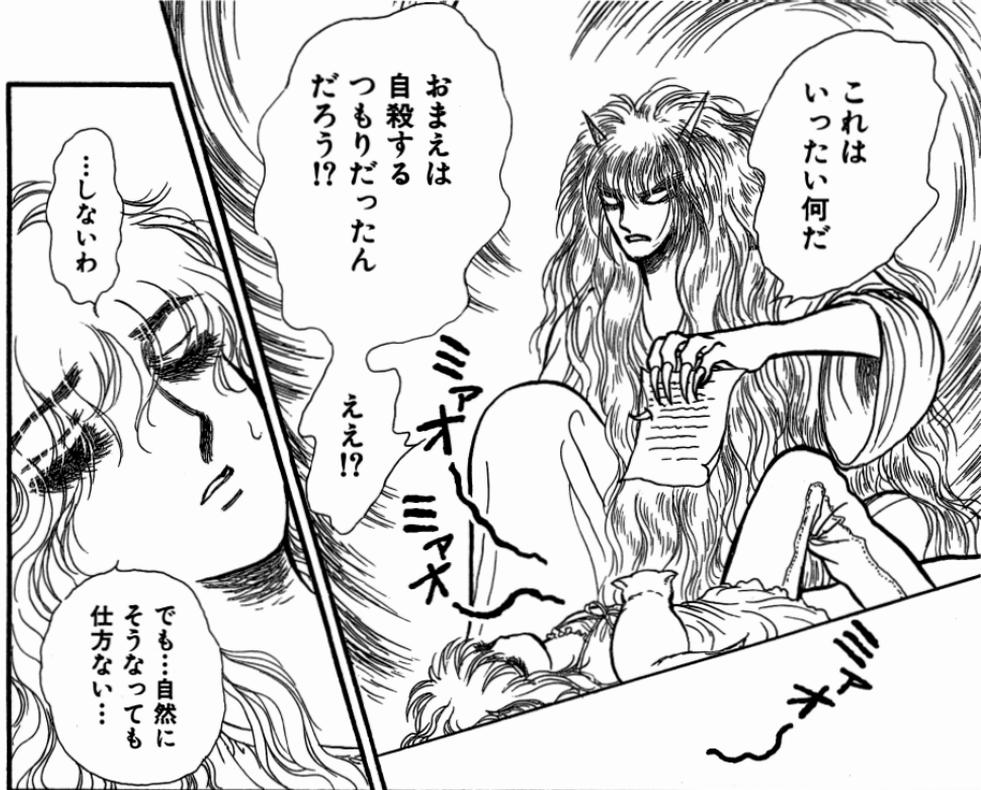


まだいたのか
この

ドブネズミ!!



十年へ
このまま私を探さないで
ください。心配いりません。私は
どこかで けっこう元気にやって
いると思いますから。
でももしある日、この家の庭に
赤ん坊が捨てられていたとしたら、
その子を私だと思って育ててくだ
さいませんか。
元気ですね。 ふふきり





その後
心臓をえぐり
出して喰う
ものな



よつりよく まんりき
妖力^{よつりよく}万力^{まんりき}を
かけてやる



だが楽には
死なせないぞ

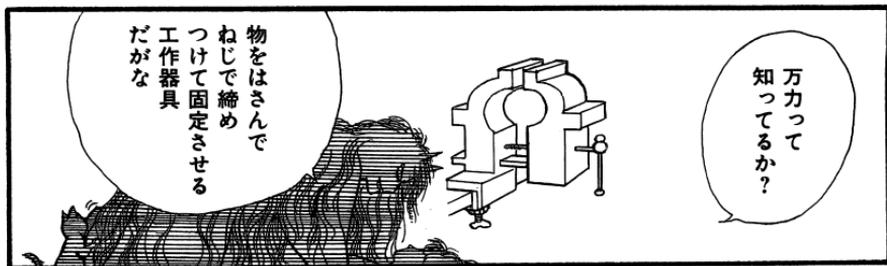
言っただろ
おれは弱いやつが
虫酸^{むしご}が走るほど
嫌いだってな

弱いやつを
いじめ殺すのが
おれの生きがいだ



そんなに
死にたいなら
おれが殺してやる

ヒ
ニ
ヤ



万力って
知ってるか？

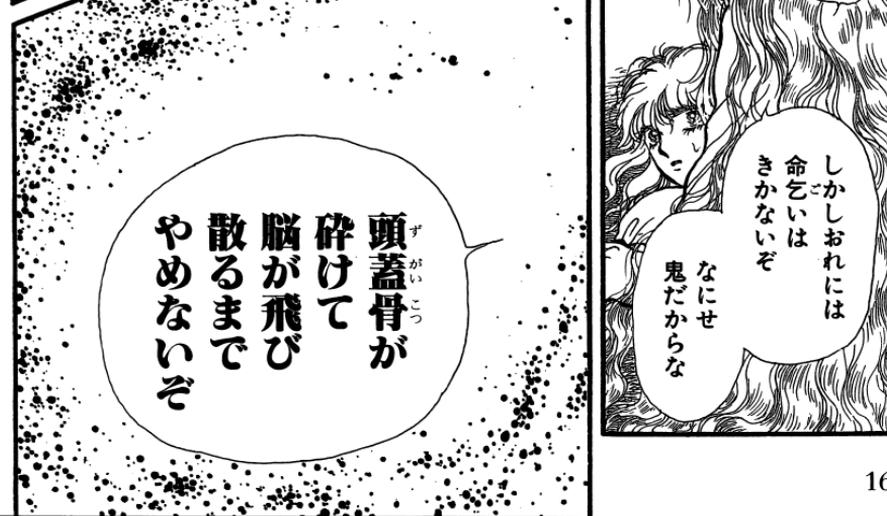
物をはさんで
ねじで締め
つけて固定させる
工作器具
だがな



マフィア映画では
人間の拷問用
として使われて
たよ

工作材料の代わりに
人間の頭をはさんで
締め上げるんだから

大の男でも
泣き叫んで命をい
するらしい



それをおれは
妖力でやる

十年…
本気だ

しかしおれには
命乞いは
きかないぞ

なにせ
鬼だからな

頭蓋骨が
砕けて
脳が飛び
散るまで
やめないぞ

じゃあ…
行くぞ

ようりやく
まんりき
妖力万力!!

何!?

何かが…
頭に—!?





相変わらず
どんな責苦にも
うめき声を
上げないな

さすがだな
だが…
限界だな



おどし
じゃない

十年は本当に
私を殺す!

ああ

ああ

ああ

ああ
ああ

ミマホ

ミマホ



ふぶき
さらばだ!!



死
ね!

ひひひ